

# Q.「少子化」って、どういうこと？



**A.** 日本における出生数は、年々減少し続け、合計特殊出生率<sup>\*</sup>も低下が続くなど、「少子化」が進行しています。少子化がこのまま進めば日本の人口は、100年後には現在の2分の1になると予測されています。

\*合計特殊出生率：一人の女性が一生の間に生む子どもの平均数

少子化の背景として、結婚観やライフスタイルの変化と併せ、子育てと仕事の両立の負担などがあり、生みたいと思う子どもの数と実際に生む子どもの数との間に大きなギャップが生じています。これからは生みたい人が生める環境をどう実現していくかが大きな課題です。



■熊本県の出生数、合計特殊出生率の推移



### 【少子化の主な影響】

- ① 子ども同士の交流の機会が減少し、子どもの健やかな成長に影響が出ます。
- ② 働き手が少なくなり、経済活動に活力がなくなります。
- ③ 年金や医療などの社会保障制度における負担が増大します。

# Q.「少子化」への取り組みは？



**A.** 少子化は今後も進むと予測されています。そこで、子育て支援策などをさらに充実させるために「次世代育成支援対策推進法」が今年7月にできました。この法律は、平成16年度末までに県・市町村や、

企業などの事業主に対し、行動計画の作成を義務付けたもので、子育てしやすいまちづくりや働き方の見直しなどを旨とした行動計画に基づき、平成17年度から10年間、集中的に取り組むものです。



「次世代育成支援対策推進法」に基づく行動計画は、皆さんの意見を反映して作成します。



**国** 指針策定、計画に基づく取り組みの支援

---

**県・市町村** 地域での子育て支援などを内容とする行動計画の作成  
 (例) ●親と子どもが自由に集える場の設置  
 ●病後児保育の実施など

---

**企業** 働き方の見直しなどを内容とする行動計画の作成  
 (例) ●育児休暇取得率女性80% 男性10%を目指す  
 ●事業所内託児所の設置など

こんな会社で働きたいな。

**住民**

① ニーズ調査・意識調査への協力  
 住民のニーズや意識を正しく把握するための調査に協力をお願いします。

② 行動計画作成に当たっての住民参加  
 住民のための行動計画となるよう、子育て支援の在り方など、県・市町村に意見を伝えてください。

育児休業をとれるように… 私たちにできることは何かしら

子どもの遊ぶ場所がほしいわ

少子化が急速に進んでいます。少子化はこれからの社会に大きな影響を与えます。今後安心して生み育て、子どもたちが健やかに育つためには、子育てを家庭の中だけでなく、地域で協力し合い、社会全体で支援していくことが必要です。

